

神奈川ウォーキング参加H21-⑮

# 大和の森と矢倉沢往還をゆく

- ・日時：平成 22 年 2 月 3 日（水）大和駅 10 時集合
- ・コース：大和駅→ふれあい広場（ストレッチとコース説明、紹介）→泉の森→一ノ関公園（昼食）→矢倉沢往還→鶴林寺→下鶴間ふるさと館→境川→さくらの散歩道→つるま自然の森→中央林間。25,600 歩 16.6 km（自宅から）
- ・参加者：初参加を含め 23 名の内女性 15 人と、男性軍 8 人で、熟女軍団に圧倒されました。

## ・概要と所感

大和駅 10:05 出発。雪が芝生に残るふれあい広場で戸田さんストレッチ。そして大平リーダー準備の地図でコース説明。初参加の方紹介と参加



全員の自己紹介。ジェット機の爆音に空を見上げ消えると、野鳥や鴨に温かくお迎えられ、水仙の小道、シラカシ林を抜け、泉の森「**しらかしのいえ**」へ。昔懐かしい木ストーブに温まり童心に還り、この周辺の野鳥、魚、草花、木々のお勉強。吊橋や水車、そして野鳥の会の写真家さん達と会話。目指す小鳥はなかなか来ない。



・泉の森を後にし、防音壁に囲まれた国道246号に沿って歩き、  
「一ノ関公園」で昼食（12：10～12：30）



・八雲神社から雪の中の紅梅や畑が都会生活の今、懐かしく写真パチリ。一ノ関・城ヶ岡「深見城歴史の森」天然坂を抜けて、真っ赤な鳥居と節分「豆まき」準備中の「諏訪神社」



へお参り。  
ここから両側  
庭付豪邸が並ぶ「矢倉沢往還」に行く。

・鶴林寺により、下鶴間旧石倉家の「下鶴間ふるさと館」に入る。江戸末期安政年間旧雑貨商「小倉家」で黒船の絵が描かれた板が有り、又明治4年の「下鶴間宿」写真が当時の宿場通りを鮮明に物語っている。



・縁側日向ぼっこは最高気分



下鶴間ふるさと館

2010.02.03

・ 観音寺から武蔵の国と相模の境界、境川の遊歩道を上る。途中昔懐かしい井戸ポンプで水汲みトライ。



・ 枝垂れ梅



・ 境川を3本の大きな水道管の橋「境川水管橋」。相模川から横浜市へ給水するために作られた水路の上が「さくら散歩道」遊歩道となっている。桜の咲く頃は素晴らしい散歩道になるでしょう。



・本日のコース最後の「つるま自然の森」に到着15:10から15分間枯葉の落ち葉を踏みながら散歩、冬枯れの林と落ち葉に咲く美熟女の写真撮影に大平リーダー大サービス(写真下右)。戸田さんのストレッチで今日のウォーキング無事終わりました。お疲れ様でした。



・大和市下鶴間の隣は相模市と座間市。相模カンツリー倶楽部は自然の森の直ぐ傍。米軍座間キャンプも近く。

・大平リーダーさんには下見と案内地図、MAPを含め素晴らしい冬枯れの公園、森と歴史を学ぶウォーキング有難うございました。深く感謝致します。22,000歩14km。

・中央林間駅は「小田急線」と「田園都市線」が併設されており交通の要所。15:40解散。

・アフターウォークは大和駅組と熟女軍団に分かれ、私はいつも利用している「野天湯元・湯快爽快・ざま」天然温泉へ行く。熟女軍団に事前に判っておればお化粧品セット持参して入るのに、と苦言賜る。申し訳ありません、次回から

気をつけます。時間待ちに駅前コーヒーで温まり、16:20の送迎バスに乗る。バスの運転手さん地元開発時からの状況を話してくれる。2時間コース800円で入場。寝湯・座湯・肩湯・スーパーエステでジェット噴流を・ふくらはぎ・もも・足裏・腰・肩・背中・腹に当てると疲れがほぐれ吹っ飛び、次に露天風呂へ。ここの源泉は二子玉川「瀬田温泉」と同じ黒茶色の温泉で1,400m地下からの温泉で、露天風呂上湯38.6度、夏は丁度長湯に良いが、冬は少し加温の下湯が良い。温まった後は昼の間のお食事処で、生ビールが何とも言えぬ美味しさ、刺身を摘まみ2杯目があつという間にスイスイ入る。2回目の入浴後はやはり日本酒、食事すると1時間延長サービス。ほろ酔い気分になり、19:40バスで中央林間駅に。最高の1日でした。感謝!感謝!